

活動No	H22-4	実施河川レンジャー	廣岡河川レンジャー
活動名	名張川 ホタルの再生と食文化学習		
実施日	平成23年2月12日(土) 10:00～15:00		
実施場所	名張市旧細川邸やなせ宿、名張川河川敷		
活動目的	<p>近年、名張川に生息するホタルが減少しており、再生に向けた今後の取り組みや活動について名張市まちづくり推進協議会、まちなか交流部会等との意見交換会を開催するとともに、名張川のホタルの現状や再生に向けた今後の取り組み等について一般の参加者に周知する。</p> <p>さらに、川魚の試食会を通じて、昔の人々の食文化を学習するとともに、水質や環境について考える。</p>		
参加者	5名		
活動内容	<p>①ホタル再生に向けた意見交換会 10:00～12:00</p> <p>河川レンジャー、名張市まちづくり推進協議会・まちなか交流部会、国土交通省担当者との意見交換会を開催し、ホタル再生に向けた今後の連携による取り組みや活動内容についての意見交換会を実施。また、上野ホタルの会の上出氏を講師に招き、ホタルの生息環境や、人工飼育の方法について講義をいただいた。</p> <hr/> <p>②食文化学習 13:00～14:00</p> <p>川魚の試食会を実施。</p> <p>料理：管内の鯉を使った鯉こく</p> <p>現在も川魚を食している海部津島からモロコの甘露煮、ふなみそ他を調達</p> <p>展示：管内の鯉、なまずを水槽にて展示</p> <hr/> <p>③ホタルの学習会 14:00～15:00</p> <p>参加者全員で名張川の河川敷きを歩き、近年ホタルが減少している川の状況や、ホタルの生息に適した環境づくりについて学習会を実施。</p>		
講師	上出 通雄氏 (上野ホタルの会)		

意見交換  
会要旨

- 名張川のホタルの再生に向けて、地域と連携した取り組みを実施していくためにはどうすればよいか。また、活動を通じて住民の方々に河川環境について関心を持っていただくためにはどうすればよいか、今後の活動の方向性について考えていきたい。
- 初めはうまくいかないかもしれないがまずは実行していかなければ始まらない。
- 1年～2年で放流できるまでいくとは思わないが、今年の6月にまず成虫を捕獲して飼育を始めたい。採取時期や飼育者、飼育場所など、今後打合せを重ねて決めていきたい。
- まちづくり推進協議会やまちなか交流部会など、目的に賛同してもらえる方々で『ホタル部会』のような専門部会を作り、目的に向かって継続的に実施していきたい。
- 5年～10年の長いスパンの中で徐々に達成していきたい。
- まちなか交流部会ではこれまでもホタル再生に向けた取り組みを実施してきたが、反省点も踏まえながらひとつずつ解決して継続していきたい。

感想  
考察

名張川のホタルの再生に向けて、地域で活動をされているまちなか推進協議会やまちなか交流部会、行政との連携による取り組みのスタートとして有意義な意見交換会となった。今後も打合せや意見交換会を行っていき、住民の方々もまきこんだ地域全体の取り組みとしていきたい。

平成23年度は、やなせ宿を中心にホタルの人工飼育を開始するとともに、ホタルの生息に適した環境づくりについても考えていくとともに、ホタルを通して住民の方々が河川環境などについて関心を深めてもらえるよう、継続して活動を実施していくことが必要であると考えている。

川魚の試食会・食文化学習においては、当日は気温も低かったこともあり参加者がそれほど得られなかったが、やなせ宿で放送を行っているFMなばりのスタッフや、昼食にきた方へも声をかけ試食していただいた。

現在では川魚料理を食べる機会も少ないため、興味や関心を持っていただけたと感じているが、説明が不十分であった所もあり次回からの反省としたい。

実際に食べるなどの体験型の活動は、参加者に関心を深めてもらうのに有効であり、今後も継続して実施していきたい。

活動状況

上出氏によるホタルの人工飼育についての説明



ホタル再生に向けた意見交換会①



活動状況

ホタル再生に向けた意見交換会②



ホタル再生に向けた意見交換会③



川魚の展示



食文化学習①



食文化学習②



ホタルの学習会①



ホタルの学習会②



ホタルの学習会③

